

【アンケート結果】 ※回答は43人分

〈生徒〉		
○修学旅行を実施する……	28人 (67%)	
〃 実施しない……	14人 (33%)	※無回答1人
〈保護者〉		
○修学旅行を実施する……	25人 (60%)	
〃 実施しない……	17人 (40%)	
○実施する場合の日数・泊数……生徒、保護者とも2泊3日が多数		
○実施する場合の行き先……生徒、保護者とも①北関東(栃木・群馬) ②南東北(福島・山形)		

数字的には実施希望者の方が多いのですが、実施しないほうがよいと思っている生徒及び保護者の数が予想以上に多い結果となりました。仮に実施したとしても、不参加の生徒がとて多くなることもあり得るのではないのでしょうか。このような実状を踏まえたうえで、再度保護者の方々の考え、意見を聞きたいと思い保護者説明会を開催しました。

【保護者説明会での意見】

○思い出づくりよりも命が大切だと思う。
○子どもたちがかわいそうだけど、中止もやむを得ない。
○現段階では安全な都道府県はない。
○宿泊を伴う旅行はとて不安だ。
○万が一感染者が出れば、コロナいじめのようなこともなくはない。
○アンケートに記入した時点と今では状況が変わってきている。アンケートには「実施する」と答えたが、今は中止したほうがよいと思う。
○高齢(病気がち)の祖父母と同居しているので、家族の旅行や遠出は控えたい。
○宿舎や食事場所では他の人と交流しないように配慮するだろうが、その従業員はいろいろな人と接触しているので万全とは言えない。
○例え県内であろうと宿泊はリスクを伴う。
○日帰りでもよいので、思い出になる校外活動を計画してほしい。

出席してくれた方は15人でしたが、全員が中止やむなしという意見でした。アンケート実施後、全国的に感染者が増加し、大都市部のみならず地方へと感染が拡大してきている状況であることを危惧してのことだと受け止めました。今後、お盆の帰省時期を迎え全国的に人が動くことが予想されます。それに伴い秋田県内や隣県などでも感染者が増加する可能性もあります。新薬やワクチンの開発にはまだまだ時間を要すると言われていきますので、感染者増加の波が大きくなったり小さくなったりを繰り返す期間が長く続くことを覚悟しなければならないのかもしれないかもしれません。万が一、能代市山本郡内や八峰町内で感染者が出た場合は、再度の臨時休校などの措置を想定しなければなりません。

アンケート調査を実施した時よりも事態は深刻になっていて、修学旅行を実施しないほうがよいという意見が更に多くなっていると推察されます。

以上のことから、万が一感染した場合のリスク(頭痛や嗅覚障害等の後遺症の恐怖、以後の学校生活や高校受検への影響、家族等の健康や生活の保障など)の回避という点を重く受け止め、また教育旅行の本来の目的(集団行動の中で友情や絆を育む。地元では見聞、体験できない社会体験をする。他地域の文化に触れふるさとのよさを見つめ直す。など)は、達成が困難な状況であることから、修学旅行は取りやめ(中止)とする判断に至りました。